

発寒ひかり
保育園だより

2019年
9月号

巻頭言

「Aくん、ほうれんそうたべたよ」。Aくんと一緒に給食を食べていた大きい子たちが、私に報告してくれました。その声を聞いて、ファミリーの他の子たちも嬉しそうに拍手しました。

Aくんは、野菜が苦手な2歳の男の子です。Aくんのために兄のHくん(5歳児)が野菜を食べられるように色々関わっている姿を見て、ファミリーの「Aくんに野菜を食べてもらおう作戦」が始まりました。4歳児のaちゃんやTちゃんも加わり、「Aくんこれおいしいよ、ひとくちたべてごらん」と毎日優しく話しかけて応援するようになりました。Aくんも少しずつ野菜を食べるようになり、そして、ついにほうれん草を完食することができたのです。Aくんはみんなに褒められて、恥ずかしがりながらも嬉しそうにしていました。0〜5歳児が家族のように過ごし、一緒に食事をするファミリーだからこそ、この温かい関わりが生まれたのではないでしょうか。

aちゃんは、Aくんや他の小さい子が寝る時間になると、一緒に付き添い、背中をさすって寝かせてくれる優しいお姉さんです。そんなaちゃんを、二年前にとても可愛がっていたRちゃんという5歳の女の子がいました。aちゃんが甘えると優しく抱きしめてくれ、お昼寝の時には背中をさすってくれました。aちゃんが安心しきった表情で寝ていたのを思い出します。今のaちゃんの姿はまさに、そんなRちゃんそっくりです。年上の子に対する憧れの思いと愛し愛される経験が、お世話をする喜びへと繋がっています。今後も、ファミリーが心の基地となり、きょうだいのような温かな関わりを育んでいけるように、見守っていきたいと思います。

くりファミリー・ひよこ組担任 橋 紀子